
考え込んだ話

ヨルタカ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
考え込んだ話

【Nコード】
N8014Y

【作者名】
ヨルタカ

【あらすじ】
とある女子生徒の葛藤

とある女子生徒の家

和室に敷いてある布団がもそもそと動きだし、中から腕が伸び、それは携帯を掴み布団に入れる

その中では一人の少女が涙に目を腫らして時間を確認する

時計は2時を過ぎていた

布団にもぐりこんでから2時間も過ぎているのに少しだけ驚いたが、布団から出ようともしえない

外に出たくない、学校に行きたくない、部活に行きたくないそんな思いが自分の頭を支配して動きを鈍らせる

私なんか…私なんか…”

そういつてまた頭を抱えこんで布団にもぐりこむ

彼女は、最近友人との距離を見失っていた

近づけば近づくほど、自分の欲求は際限なく相手にぶつかっていく遠ざけようとすれば、口下手な自分は相手を傷つける

どうすればいいのか、わからなかった

誰かに言う、ということもしたくなかった

そんな風にして誰かの立場を微妙にしたくなかった

こんなの…わがままだ…

自分を責めることしかできなかった

何も考えずに接すればいいことくらいどこかで分かっていた
その程度のことです誰も嫌われないことくらいわかっていた
それでも自分が嫌だった

自分の気に食わない発言があればすぐに不愉快な顔をする自分を、
耳を塞ぐ自分を、嫌わなかったために別の何かを嫌う自分を…

消えたい消えたい消えたい

このまま、居なくなりたかった、あの場所から消えてしまいたい

こんなこと、明日になったらまた忘れるのだろう、その程度にしか
考えていないこともまた…

めんどつくさいやつだ…私は…

息が荒くなる、髪の毛を掴む力は強くなる

こんな風に考えるから…考えるから…

考えること事態さえ責めて、それが泥沼に沈んでいくことになる位
はわかっていた
わかっていて悩むしかできなかった
悩んで逃げて責めてを繰り返した

ああ…何もできない、何も変わらない、何も何も何も

体も震えてくる

皆みたいになりたい、こんな私は嫌なんだ…こんな風に考えてるから私は私は！

自ら沈めていく、自ら傷ついていく、こんな自分を…誰が…
思えば思うほど、それは自らにのしかかり、また傷つく…

でも…今は…

規則もそれなりに守っている、部活でも仕事をしている、こんな自分を誰が責めるだろうか

責めたとしたら、明らかに悪者になる、ソレを望む人間なんて居ない

もう…それでいい、それだけでいい…

そう思っで、そのまままぶたを閉じて眠ってしまおうとしたが、それもう叶わないことであつた

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8014y/>

考え込んだ話

2011年11月23日20時49分発行